



足跡に感謝し、未来へつなぐ

山内 知枝

二〇二一年は、前年に引き続き、混乱するコロナ禍の情勢下における防止対策に終始した更なる一年でした。

危機感をもって感染防止に心を砕き、我慢と工夫に尽力を尽くしてくれた職員はもとより、ご家族の温かいお言葉とご配慮に感謝申し上げます。厳しい環境と規制の中で行われ続けている窓越し面会、リモート面会など新しい機器の導入により、これも一丁導入の一步かと少しだけ時代遅れの私には、神様からの贈り物のようでした。

昨年も、音野舎における四本柱の地域密着型行事も実施されることはなく、各事業所のみを取り組みで季節を感じて頂きました。今年は制限された状況下でないうる実行可能なものはないか、知恵を出し合いながら実現に向かいたいと思います。

皆様のご意見を多く頂戴しながら『心のふれあい』の機会を設け、潤いと希望のある生活支援に繋いでいきます。またこの本願は、音野舎の理念であります『真心』のサービスの再確認にも影響することでしょう。ご家族・職員・ご利用者の皆様が、安心して暮らす場所を育むことが、音野舎に関わる全ての人々の心理的ケアの実践に繋がると信じます。

また新しく、これまでの一事業所が南九



州市初の『看護小規模多機能ホーム』に転換、昨年十一月一日の開園記念日より発足しました。各人の主治医様とともに、なお一層皆様のお役に立てることを祈ります。

さて、音野舎のルーツでもある、旧うきべ医院の解体が、昨年お盆過ぎより始まり、同年十月三十日に作業は終了しました。今は更地となり、思い出の場所と化しました。五十年以上地域に根差し、両親の人生の大半でございました。この二階の角部屋で、社会福祉法人を設立し『滴々会・音野舎』が生まれました。主人と二人で申請書類や、膨大な数の書類を完成させ、土地など奔走しました。当時のお役所の方々にも励ましてもらい、苦労を重ねながらも、今では、温かき思い出の場所です。解体の間、多くの方々から慈しみの言葉と、感謝の気持ちを戴き、先に逝った三人に手を合わせるばかりでした。この医院が地域の方々の生活に欠かせない存在であることを知らしめる一瞬を感じました。武家屋敷の出入り口であるこの跡地が、知覧の地域発展の新たな場となればと願ってやみません。志を共にし、地域の皆様との絆に感謝の念を抱きながら、今後に繋いでいけたら幸いです。

最後に、ともに忍耐強く歩んでくれた職員へ感謝し、健やかに過ごされることを願い、新年の挨拶とさせていただきます。

中秋の名月



十月二十一日、今年は八ぶりの中秋の名月が重なるとの声を聞き、各事業所もひときわ力の入ったお月見が出来ました。コロナ感染上、こもりっきりの日々ですが、正田環境部長が例年集めてくれる『萩・すすき・栗』を焼酎の瓶に差したり、あるいはどろんと豪勢に投げ入れたりして季節感を感じる事が出来ました。これからもご利用者に喜んでいただける季節行事を続けて行く事でしょう。



敬老会

九月二十日、グループホームユニット合同で敬老会を開催しました。夏の花火大会以来、久しぶりの顔合わせです。人数も多く、いつもと違った雰囲気の中で、歌やゲームを楽しみました。また、日頃の感謝を込めて職員によるパフォーマンスが行われました。学生服に身を包み、懐かしい曲に

合わせ歌やダンスを披露しました。記念撮影では、ご長寿トップ（九十五歳）の笑顔が輝いていました。愛情と感謝にあふれた敬老の日特別パーティーのお弁当を召し上がり、嬉しそうに召し上がりました。

九月十九日、ケアハウス食堂にて敬老会を開催しました。記念品の贈呈や、米寿を迎えた方々の紹介の後、優勝目指して巻き巻きゲームで盛り上がりしました。また、職員も南九州市音頭を披露しました。

百寿祝い

特別養護老人ホームでは、百歳を迎える方が二人いらっしゃいますので、ご紹介させていただきます。

浮邊ヒナ様は、昔から元気いっぱい農業を一生懸命頑張っておられました。また、ゲートボールが大変お上手で、ゲートボールの先生と呼ばれていたそうです。入居後も行事やレクリエーションに参加され楽しんでいらっしゃいます。

有村ミチエ様も、農業をしながら、建設会社や茶工場で一生涯頑張っておられました。朝から晩まで畑にいて、昔は真っ黒に日焼けをされていたそうです。現在は化粧をしていらっしゃるかのようになりに穏やかに過ごされています。

謹んで百寿のお祝いを申し上げます。

これからもお元気でお過ごしください。



浮邊ヒナ様



有村ミチエ様

運動会

十月十一日から一週間、デイサービスでは二階の地域交流センターにて運動会を開催しました。元気よく選手宣誓をされ、恒例の足踏みリレーをはじめ、職員が工夫を凝らした幾つかの競技を行い、一生懸命頑張ってお

られました。真剣に、熱も入り、大きな声で応援したり歓声をあげたりといつもと違う表情もありました。終わった後、「すっただいた」と言われ、昼食を美味しく召し上がっていました。

『秋と言えばコスモス』ということで、上ノ町自治会のコスモス畑へドライブに行きました。デイサービスでは久しぶりの外出に嬉しそうな顔をしている方もいらっしゃいました。天気の良い日、少し肌寒い日とありましたが、一面のコスモスに「綺麗だね」と歓喜の声も聞かれ喜ばれていました。とても素敵な笑顔で写真撮影も出来ました。

良い日、少し肌寒い日とありましたが、一面のコスモスに「綺麗だね」と歓喜の声も聞かれ喜ばれていました。とても素敵な笑顔で写真撮影も出来ました。



梅干しの天日干し

十月上旬、グループホームでは梅干しの天日干しを行いました。

八月から十月の天日干しは俗にいう『土用干し』とのこと。夏に作った梅干しのバージョンアップです。日差しがまだ強く、帽子を被っての作業です。梅干しを大きくるに上げ、一つ一つ間隔をあけ丁寧に置いていきます。作業は中腰や椅子に座りながらと皆様集中し頑張りました。途中で梅干しをひっくり返したその瞬間、お口へパクリ！「味見です」とのこと。ポカポカ陽気もあり、日光浴も楽しまれ、いつの間にかウトウト・・・。



風船バレー

十月十七日、ケアハウスでは十月生まれの利用者様の誕生日会を開催しました。レクリエーションとして、中庭で赤組对白組に分かれ風船バレー大会を行いました。強風の中、皆様熱くなり、白熱した試合展開となりました。風船バレーの後は、ケーキやジュースでお祝いしました。



職員研修

十一月十八、二十五日の二日に分け鶴園事務次長の講師のもと「職業倫理と個人情報」と題し、職員研修を実施しました。倫理とは①人として踏み行う道②道徳③モラルの三つから成り立ちます。仕事を行う上で、職員全員が決められた基準を理解し、同じ目標に向かって取り組むことが重要です。個人情報につきましては、最近SNSを中心に世間でも問題化されています。私達は働く上で、多



くのご利用者やご家族の個人情報を知り得る環境にあります。個人情報の管理の重要性や危険性を再度認識することができました。今回の研修で、再度自分たちの仕事のあり方を見つめ直す良い機会になりました。研修で学んだことをしっかりと認識し、ご利用者に満足していただけるサービスが提供出来るように取り組んでいきたいと思えます。

クリスマス会

感染予防対策の為、縮小してデイサービスのみのクリスマス会となりました。クリスマスの飾り付けを見て感動する方もおられました。

『きよしこの夜』をご利用の方が歌い、鈴やタンバリン等の楽器を使って合奏しました。「おっーうまいねえ」と歓声や拍手が沸く場面もあり、それぞれ思い思いの音を奏で、クリスマスらしい雰囲気になりました。

ビンゴゲームでは、景品が当たって嬉しそうにされる方、外れて悔しそうな表情をされる方がいらっしやり、賑やかな時間になりました。職員からはハンドベル演奏を皆様にプレゼントしました。失敗もありましたが、皆様温かい心で聴いて下さり感謝感謝です。短い時間でしたが、楽しいクリスマス会が出来て良かったです。



お知らせ

事務次長 鶴園 尋倫

コロナ感染症対策から、前年同様に昨年も地域の皆様と触れ合う機会としてきた、グラントゴルフ大会、納涼大会、講演会などの大きな行事が中止となっていました。

地域の皆様からも「大変楽しみにしていたのに」というお声も頂いたのですが、ご期待に添えることが難しく職員一同残念な思いです。季節的な施設内の行事である、敬老会、クリスマス会、父母の会行事等は各事業所で感染対策に努めながら実施しているところです。

今後、コロナ感染症を鑑みながら感染対策に努め、ご利用者、ご家族や地域の方々との触れ合いの機会とする行事等を開催していきたいと願っています。



2022年 寅年特集



今年の干支は寅です。そこで今年、96歳・84歳・72歳の方で音野舎をご利用されている方々をご紹介します!!



特別養護老人ホーム
折田 フメ様



特別養護老人ホーム
松木田 ヨシ子様



特別養護老人ホーム
高尾 スギノ様



グループホーム
檜原 エミ様



デイサービスセンター
折尾 清春様



デイサービスセンター
鮫島 ヤス様



デイサービスセンター
前田 久男様



デイサービスセンター
田中 ノキ様



デイサービスセンター
東 洋一様



ケアハウス
佐多 武人様



ヘルパーステーション
福留 ミキ様



ヘルパーステーション
竹田 キヨ様



ケアプランセンター
辰野 日子様



ケアプランセンター
堂園 エミ様



看護小規模多機能ホーム
加治佐 道子様



看護小規模多機能ホーム
菊永 タミ様

【看護小規模多機能ホーム音野舎】について

小規模多機能ホーム音野舎は「看護小規模多機能ホーム」へのサービスの転換申請を行い、令和3年11月1日より「看護小規模多機能ホーム音野舎」として新たに事業を開始しました。

看護小規模多機能ホーム(通称:看多機)について、ご紹介します。

看多機は平成24年度の介護保険法改定で創設された比較的新しい事業形態です。

「通い」「訪問」「泊まり」のサービスに新しく「訪問看護」がプラスされ4つのサービスを一つの事業所で一体的に運用するものです。回数や時間で報酬が変わるわけではなく、要介護度に応じた定額制の報酬体系となっています。

南九州市に住所のある要介護1～5の方が利用できて、登録定員は29名です。

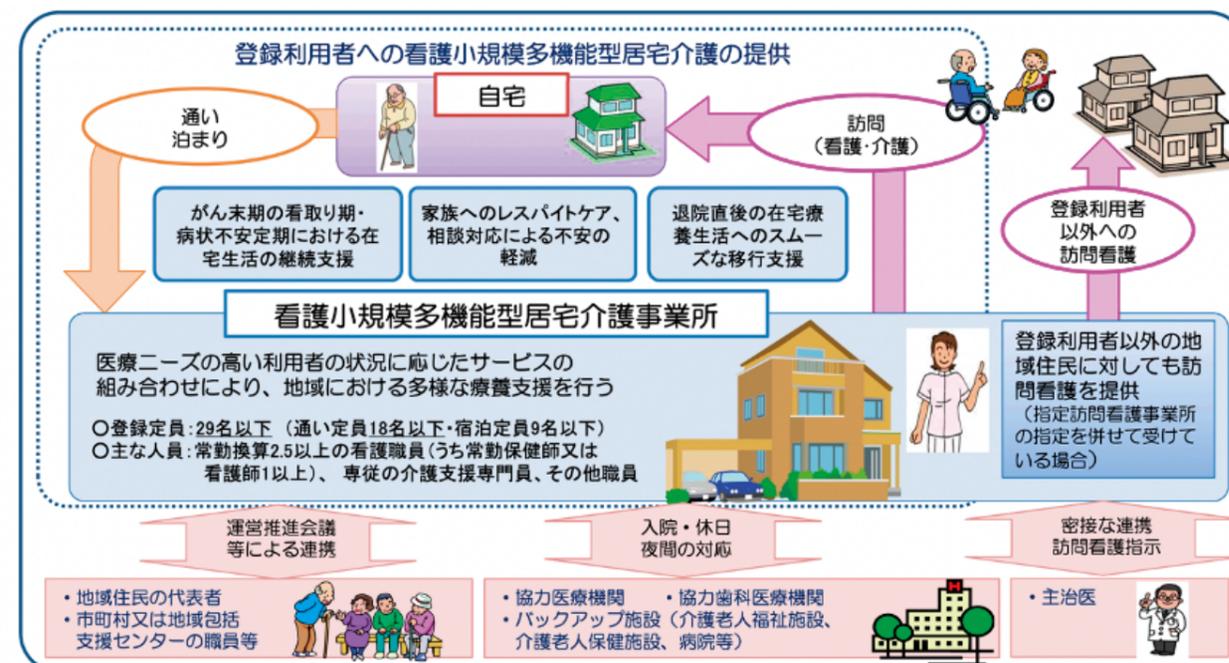
退院後、以前の生活再開に不安を抱えている方や持病があり自宅での療養が必要な方、その他自宅での看取りを希望されている方等、様々な対応が可能なサービスです。

看多機でのサービスの他にも福祉用具、訪問リハビリも合わせて利用する事もできます。

ご相談、お問合せ等いつでも対応いたしております。

管理者：春田 由美子

看護小規模多機能型居宅介護の概要



- 主治医と看護小規模多機能型居宅介護事業所の密接な連携のもと、医療行為も含めた多様なサービスを24時間365日利用することができる。
- ※医療ニーズへの対応が必要な利用者に対して、小規模多機能型居宅介護事業所では対応できなかったが、看護小規模多機能型居宅介護事業所では対応できる。
- 看護小規模多機能型居宅介護事業所の介護支援専門員が、「通い」、「泊まり」、「訪問(看護・介護)」のサービスを一元的に管理するため、利用者や家族の状態に即応できるサービスを組み合わせることができる。

引用:看護小規模多機能型居宅介護の概要



問題をじっくり読んで答える大人向けのなぞなぞです。

① 突然の嵐

「ピクニックの最中、突然の嵐に襲われて小屋に避難した太郎君家族。
激しい雨風でドアが開いてしまったのですが、誰も閉めに行きません。
どうしてでしょうか？」

ヒント:少しゆっくり問題文をよむこと

② パソコンが壊れた

「パソコンのキーボードでローマ字入力をしていた太郎さん。
あるキーが1つ壊れてしまい、全く作業が出来なくなりました。
どのキーが壊れたのでしょうか？」

ヒント: 問題分をじっくり読むと意外と簡単

答え

- ① 「閉める必要がなかったから」です。
普通に問題文を読むと「激しい雨風でドアが開いた」という意味になる為に、閉める必要があるように見えます。
しかし問題文には「ドアが開いてしまった(=開いて、閉まった)」と書かれている為誰もドアを閉めに行かなかったのです。
- ② 答えは「Sのキー」です。
Sのキーで打てるのは「サ行(=作業)」であることから「サ行(=作業)ができない」となります。

発行

社会福祉法人 滴々会
高齢者総合福祉施設 音野舎(のんのしゃ)
〒897-0302
鹿児島県南九州市知覧町郡2072番地2
TEL 0993(58)7171 FAX 0993(83)4771
URL <http://www.nonnosya.com/>
E-mail info@nonnosya.com

編集後記

長かった夏から、寒さが急に厳しくなり、今年の正月も例年と変わらない寒さとなりました。2022年は壬寅(みずのえとら)で、『成長』や『始まり』の年と言われ、縁起の良さを表しているそうです。今年は新しい日常が始まると良いですね。感染症予防をされ、暖かくして健康にお過ごしください。



Photo By Kodama